



## 第117号 2014年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

写真／中野紀男(長門市)

### 主な内容

- 史料探求 文の夫・楢取素彦の伝記を出版へ ..... P4  
ズームアップ 山口大学大学院教授 金折祐司(山口市) ..... P6  
Café 指月茶寮 中西隆(萩市) ..... P7  
萩往還の宿場町・佐々並 どうしてやろう会会長  
林壯助、とうふ料理の店「はやし屋」女将 林千恵 ..... P8

萩往還沿いでは、梅、コブシ、“竹の秋”から柿若葉へと移り変わり、初夏に向け夏みかんの花が咲き匂う季節が近づいてくる中、萩では大河ドラマ「花燃ゆ」、世界遺産登録、明治維新150年に向けた準備が急ピッチで進んでいます。

さて私事ですが、10数年にわたり萩ネットワークなどを担当した広報課から、4月に萩博物館(堀内)に着任しました。指月会、つばき会など各高校同窓会、また同郷会では大変お世話になりました。萩博は年中無休、帰省の折にはお立ち寄りいただくとともに、引き続き萩ネットワーク購読をよろしく願い申し上げます。 山本章三(萩博物館長)

## 初夏のかおりの中で 萩夏みかん小町



松陰の妹・文の生涯を描く

# 「花燃ゆ」

## 旧明倫小体育館に大河ドラマ館、萩博物館に特設展示室を開設

来年1月に大河ドラマ館

3月25日、萩市大河ドラマ「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会が設立され、平成27年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の放送に合わせ、萩市の幕末・維新ゆかりの地など魅力ある観光資源を情報発信し、観光振興や地域経済の活性化を図るとともに、平成30年の明治維新150年に向けて、時代を切り開き、近代の扉を開けた幕末・維新の「萩物語」を語り広めます。



井上真央  
(文役)



大沢たかお  
(小田村伊之助役)

萩博物館・至誠館で今年秋から展示

平成27年1月11日から約1年間、旧明倫小学校体育館を活用してドラマで使用された衣装や小道具、セットの再現などが展示され、ロケのメイキング映像も上映される計画です。

### ■大河ドラマ「花燃ゆ」とは

吉田松陰の妹・文をヒロインに、ともに苦難を乗り越えていった杉家の強い絆と、松陰の志を継いでいった若者たちの青春群像がダイナミックなスケールで描かれます。ヒロイン文役の井上真央さんに続き、小田村伊之助(榎取素彦)役に大沢たかおさんの出演も発表されています。

放送は平成27年1月からの予定です。

萩博物館では今年9月から、松陰が旅先や獄中から家族へ送った手紙、松陰の実家杉家の人々を撮影した写真など、杉家から萩市に寄贈された貴重な資料の数々を展示されます。

また、松陰神社宝物殿「至誠館」でも大河ドラマに合わせた展示が企画検討されています。

■問い合わせ  
萩市大河ドラマ推進室  
(25・3139)

寄付金を募集します

## 久坂玄瑞の銅像 城下町に建立!

今年、久坂玄瑞没後150年の年です。萩まちじゅう博物館銅像建立委員会(会長 野村萩市長)が、大河ドラマで主人公・文の夫となる、久坂玄瑞の銅像を中央公園(江向)の平安古、城下町側に建立することが決まりました。

寄付者の名前は芳名板に掲載します。

【銅像制作者】江里敏明氏(京都府在住、日展評議員。萩城跡の毛利輝元公銅像や高杉晋作立志像を制作)

■募集寄付金 1口5万円  
※団体での寄付もできます。

■募集口数 100口(1人1口)

■募集期間 5月1日から申込受付を開始し、100口になり次第締め切り(先着順)

■申込・支払方法 事務局に申し込みの上、現金持参または郵便振替用紙で払い込み

■申し込み・問い合わせ  
萩市まちじゅう博物館推進課内銅像建立委員会事務局  
(08388・25・3356)



### ■久坂玄瑞

藩医の家に生まれ、松下村塾に入門し、高杉晋作とともに松下村塾の双壁とうたわれました。吉田松陰の妹の文と結婚、国事に奔走しますが、禁門の変で負傷、自刃します。

平成27年の世界遺産への登録に向けて

# ユネスコへ 推薦書を提出 (正式版)



萩反射炉 (椿東)



大板山たたら製鉄遺跡 (紫福)



恵美須ヶ鼻造船所跡 (椿東)



萩城下町 (堀内ほか)



松下村塾 (椿東)

1月29日、日本政府からユネスコ世界遺産センターへ「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の推薦書(正式版)が提出されました。

「明治日本の産業革命遺産」は、岩手県から鹿児島県までの8県11市の23件(※)の資産で構成されています。このうち萩市の資産は「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5件となっています。

ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)の審

査が平成27年5月頃まで行われるとともに、今年の夏から秋頃にかけて現地調査も実施される予定です。そして、平成27年の夏頃に開催されるユネスコ世界遺産委員会で世界文化遺産の登録可否が決定されます。

萩市では引き続き、関係県市、内閣官房等関係機関と緊密な連携を図りながら、イコモスの審査への適切な対応に努めるなど、平成27年度の世界文化遺産登録を目指して、全力で取り組んでいきます。

市では世界遺産登録を見据え、今年度も引き続き、萩反射炉の耐

震診断予備調査、恵美須ヶ鼻造船所跡の公有化、解体工事を行います。また、大板山たたら製鉄遺跡の復元工作物の修理や公衆トイレ、展示室の整備、アクセス道である市道改良工事を行うなど、資産の整備を進めていきます。

※これまで構成資産は28件としていましたが、八幡製鉄所関連の3施設を一体とみなすなど整理され、23件となっています。

■問い合わせ  
萩市世界遺産登録推進課  
(0838・25・3380)

## 小郡萩道路 全線開通へ! 絵堂～萩間 いよいよ事業化決定!!

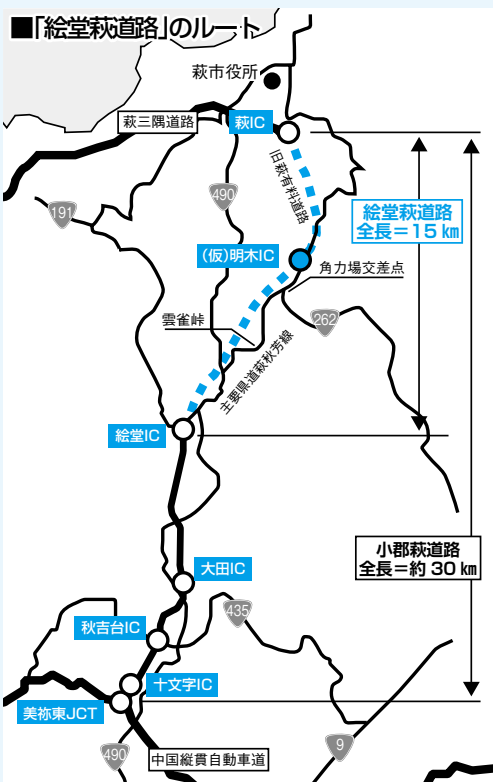
萩市と山口市  
小郡を結ぶ「地域高規格道路 小郡萩道路(延長約30km)」は、平成23年5月に中国縦貫自動車道等と連結する美祿東ジャンクション(JCT)から美祿市美東町絵堂インターチェンジ(IC)までの約13kmが開通しています。

小郡萩道路は山口県の南北を結ぶ唯一の高速道路で、山陰地域の住民にとって、地域の活性化に必要不可欠な経済・社会基盤です。今回の事業化により、災害時の迂回路や緊急輸送路の確保、救急医療体制の充実が図られるとともに、山口県における陰陽格差是正の面からも、整備効果が期待されます。

**明木にインターチェンジ**  
絵堂ICと「山陰道萩三隅道路」萩IC付近を結び、明木ICが設けられます。明木IC～絵堂IC間の約9kmは新たにバイパスを造ります。萩市椿～明木IC間の約6kmは、当面、旧萩有料道路と国道262号の現道を活用する計画です。

今年度は、道路の測量・設計に1億円を予算計上しています。

**陰陽格差の解消が期待**  
小郡萩道路は山口県の南北を結ぶ唯一の高速道路で、山陰地域の住民にとって、地域の活性化に必要不可欠な経済・社会基盤です。今回の事業化により、災害時の迂回路や緊急輸送路の確保、救急医療体制の充実が図られるとともに、山口県における陰陽格差是正の面からも、整備効果が期待されます。



# 文の夫・楫取素彦の伝記を出版へ！

## 楫取家に保存されていた伝記草稿が 数十年ぶりに「再発見」

### 萩・前橋両市で共同出版

今回も大河ドラマ「花燃ゆ」に  
関連する情報をお届けしたい。主  
役の文を演じる井上真央さんに続  
き、二番目に配役が発表されたの  
は、吉田松陰や久坂玄瑞、高杉晋  
作ら大方が期待する人物ではなく、  
楫取素彦役の大沢たかおさんで  
あった。

素彦は、ほんの少し前までは  
まったくの無名であったが、最近、  
萩博物館に対して彼に関する問い  
合わせが増えてきている。それは、



大礼服に身を包んだ晩年の楫取素彦

だ。むろん、その  
まま活字化しただ  
けでは読みにくい  
ので、適宜句読点  
を打ち、難読文字  
に読み仮名をつけ  
るなど、工夫を凝  
らした。  
出版元は、素彦  
が縁で友好都市提  
携を結んでいる萩  
市と前橋市である。

人気俳優の大沢さんが演じること  
になったことと決して無関係では  
あるまい。細々とではあるが素彦  
について勉強してきた私にとって、  
こうした状況に至ったことは非常  
に喜ばしい限りである。  
この絶好のタイミングで、今春  
数年前から温めてきた『楫取素彦  
伝』を出版する運びとなった。と  
いつても、著者は私でなく、村田  
清風の孫・峰次郎である。戦前に  
書かれながら出版されることな  
く、約80年もの長きにわたり素彦  
の子孫が守り伝えた草稿を活字に  
して世に送り出すこととなったの  
だ。むろん、その  
まま活字化しただ  
けでは読みにくい  
ので、適宜句読点  
を打ち、難読文字  
に読み仮名をつけ  
るなど、工夫を凝  
らした。  
出版元は、素彦  
が縁で友好都市提  
携を結んでいる萩  
市と前橋市である。

### 伝記草稿の「再発見」

改めて説明するまでもないが、素  
彦は初代群馬県令（現在の県知  
事）をつとめ、県庁を高崎から前  
橋に移したことで知られる。なお  
素彦は、群馬県令在職中の明治14  
年（1881）に妻・寿を亡くし、  
明治16年に文（美和子と改称）と  
再婚した。文もすでに夫・久坂玄  
瑞を亡くしており、素彦・文とも  
に再婚同士であった。  
ともあれこの伝記は、最初にし  
て唯一の本格的な『楫取素彦伝』  
である。なお、現在は編集作業が  
大詰め段階に入っているところ  
であるので、書誌データについて  
は、機会を改めて本誌の「出版情  
報」欄にて紹介できればと考えて  
いる。

私は前々から、素彦の伝記草稿  
が楫取家に存在したという事実だ  
けは承知していた。というのも、  
日本史籍協会編『楫取家文書』の  
「解題」に、村田峰次郎が編纂し  
た素彦の伝記が草稿のまま楫取  
家に保存されていると記されてい  
るからだ。だが、その後、草稿が  
どうなったかについてはまったく  
把握されておらず、内容を確認す  
ることはできなかった。  
ところが、3年ほど前、その伝  
記草稿が楫取家に保存されている  
ことがわかった。これを見つけた  
ときは非常に興奮した。実に、数  
十年ぶりに伝記草稿が「再発見」  
されたということになる。  
その経緯は、次のごとくである。  
私は平成24年（2012）、萩博  
物館で開催した没後100年記念  
特別展「楫取素彦と幕末・明治の  
群像」を担当した。伝記草稿を見  
つけたのは、東京の楫取能彦氏  
を訪ねて、展示に借用する資料を  
事前調査していた時のことである。  
古びた皮製の手提げ鞆が目にとま  
り、何だろうと思っていると、「村  
田素彦伝」とペン書きされた荷  
札が付けられていることに気付い  
た。恐る恐る鞆を開けると、なん  
と「耕堂楫取男爵伝記」という表  
題の生々しい草稿が出てきたので  
ある。荷札に書かれた「村田」が  
著者村田峰次郎を指していること  
はいうまでもない。

### 伝記の見どころ

楫取家に草稿が現存することを  
確認した私は、これを決して「幻  
の楫取素彦伝」に終わらせてはな  
らないと思った。そして、内容を  
広く知らしめるためには、ぜひと  
も出版する必要があるとの意を強  
くした。ただ、当時は特別展の準  
備で手一杯であったため、能彦氏  
より写真撮影の許可を得て、特別  
展終了後に萩博物館で手分けして  
活字に起こすことにした。この間  
に、素彦の没後100年記念行事  
を通じて友好都市交流を深めてい  
た前橋市の担当者とも相談し、今  
春、萩・前橋の両市で共同出版す  
ることが決まったのである。  
伝記を出版する第一義は、萩・  
前橋の両市が今後協力して楫取素  
彦の顕彰・検証に取り組むための  
有益な材料にし得るということに  
ある。また、素彦は「花燃ゆ」に  
たびたび登場することが予測され  
るので、素彦に関する情報を各層  
に対して幅広く提供するうえでも  
大いに役立つと思われる。

著者の村田峰次郎（1857～  
1945）は、『高杉晋作』『品川  
子爵伝』など多くの著作をのこし  
た歴史家である。峰次郎は、素彦  
の伝記を草稿のまま残すのではな  
く、出版したいとの意思を有して  
いたようであるが、結局は今日ま



「耕堂楫取家蔵」の草稿(楫取家蔵)

で日の目を見ることがなかったわけである。

この伝記は戦前に書かれたものであるだけに、現在の歴史学の常識からみると「史観」の面でけっこう問題がある。著者は、幕府を徹底的に低く評価する一方、長州藩がいかに正しいことをしたかを強調しているからである。要するに、徹底した王政復古史観、薩長討幕派史観で書かれているのである。このような勸善懲惡的な描き方をした書物は、もはや歴史学

界では古典の部類に属するようになっている。ただし、こうした史観の責任を、著者だけに押し付けておくことはできない。昭和の戦前期に書かれた歴史書は、おしなべてこのような二項対立式の描き方をしているからである。

それでは、今、この伝記を魅らせる意義は奈辺にあるのかというと、原本が失われた史料が多数引用され、また知られざるエピソードも豊富に盛り込まれているところにある。つまり、素彦にまつわる新しい事実、情報がいろいろと引き出せるのである。

一つ、興味深いエピソードを引き出してみよう。それは、素彦が元治元年(1864)12月、いわゆる「俗論党」によって野山獄に投じられてからの話である。妻寿は、夫素彦の獄中での不便を気遣い、湯水飲用の湯呑を差し入れ、素彦はそれを愛用した。この時素彦とともに投獄されていた村田次郎三郎は、その湯呑を見て「ツクニウ」(木菟入)という渾名をつけた。「ツク」というのは鳥のミミズクのことであるが、湯呑の嗜好はミミズクのように肥満していたといい、また「ツク」というのは憎々しい坊主頭の人を罵っている言葉でもあったというから、現在、湯呑の実物を確認することは不可能ながら、おおよその形を想像することは可能である。素彦

がどのようなものを愛用していたかがわかる、実に趣のある話である。

このエピソードに出てくる村田次郎三郎(のちの大津唯雪)は、著者峰次郎の父である。峰次郎は父から直接この話を聞き取り、そのまま本書で紹介したに違いない。今となつては、素彦に身近に接した人は皆無といつてよく、こうした逸話を集めることはできない。その意味で、この伝記は、素彦と接したことのある人から話を聞くことのできた著者の強みがいかに発揮されているといえよう。実際、湯呑のほかにも、素彦は酒をこよなく愛し、「阿勝」と命名された酒瓢を使っていたことなど、彼の人物を知るうえで参考になる話はいろいろある。

明治維新は、松陰や晋作ら一握りの人物だけで成し遂げられたものでなく、素彦のような縁の下の方持ちがいたことを決して見逃してはならない。素彦は、とくに義兄にあたる松陰を支援したり、庇ったり、相当の努力をし、何かと苦労もした。この伝記には、わざわざ「吉田松陰との関係」という一章が立てられ、そのあたりの事情についても説明されている。「いぶし銀」の活躍をした素彦が多くの人に知られることを願う。

道迫真吾(萩博物館主任学芸員)

## 2015年 NHK大河ドラマ 『花燃ゆ』



### 土屋NHKチーフプロデューサーが萩で講演!

■土屋勝裕さんプロフィール  
1970年(昭和45)生まれ。1994年(平成6)NHK入局。「利家とまつ」、「天花」などを演出。「篤姫」や「龍馬伝」制作にも関わる。

タイトルは、吉田松陰の遺言ともいえる「留魂録」から着想しました。「人の一生は春夏秋冬に例えられ、たとえ短く

3月27日、「萩おもてなし大賞」の記念講演会で、「花燃ゆ」の制作統括であるNHKドラマ番組部の土屋勝裕チーフプロデューサーが、「ドラマの中のおもてなしの心」と題した講演で、企画の秘話などを披露しました。

#### ■ドラマづくりのポイントとは?

ドラマを作るときには、「内容を分かりやすくすること」、「意外性があること」、「見る人を感動させること」をいつも心がけて、中でも感動には愛という要素が必要で、家族の愛などを描くことで、日曜の夜にはぜひ感動してもらいたい。また、「篤姫」や「龍馬伝」のように、楽しんで見てもらえるドラマにしたいです。

#### ■「花燃ゆ」というタイトルは?

最近の幕末期の大河ドラマは、薩摩や土佐、会津が舞台であったため、次は長州を描きたいという思いから、「花燃ゆ」の企画がスタートしました。

でもそれぞれ四季がある。人が死ぬとき、種を残すが、咲かして育てるのは次の世代」という文章から、松陰が残した種の花が芽吹き、燃えるように咲き誇っているというイメージから決まりました。

#### ■ホームドラマや学園ドラマ、ラブストーリーの要素も?

文という名前は、人と人をつないでいく手紙というイメージの良い名前です。それを引き受けさせる役目を与えたい。

また、杉家という家族のホームドラマ「松下村塾」は学園ドラマ、久坂の死後、毛利家の大奥で侍女になるといふ女性たちのドラマ、そして楫取素彦との再婚というラブストーリーなど、ドラマとして楽しめる要素が満載ですので、ぜひお楽しみに。

かなおり ゆうじ  
**金折裕司**さん

（山口市在住、萩高校昭和44年卒、63歳）



「この一冊でわかる山口県の活断層と大地震～次の大地震に備える」

ykanaori@yamaguchi-u.ac.jpに、メール連絡  
いただければ、無料で送付します。

山口市震度4

強い揺れとガタガタという音で目を覚ました。ひよっとしたら、南海トラフ地震ではないか、という思いがすぐに頭をよぎった。数十秒続いた強い揺れの後、テレビでは山口市震度4、防府市震度5弱、愛媛県伊予市で最大震度の5強を速報していた。

3月14日午前2時6分ごろに、伊予灘の地下78kmを震源として、マグニチュード6.2の地震が起きたのである。平成7年阪神大震災を誘発した兵庫県南部地震（活断層地震）以降、山口市で震度4を観測したのは、平成9年山口県北部の地震、平成13年芸予地震、平成17年福岡県西方沖の地震、今回が4回目であり、強い地震を感じることも多くなった。

地震の3日前、東日本大震災3周年の節目に、私は小冊子「この一冊でわかる山口県の活断層と大地震～次の大地震に備える」を発行したばかりであり、14日未明からマスコミの問い合わせが相次いだ。

実は、東日本大震災の起きた平成23年3月11日は、奇しくも私の還暦の誕生日でもあった。

地震の活動期を生きる

国の見積もりによると、東海か

ら四国沖で南海トラフ地震（海溝型巨大地震）が今後30年以内に発生する確率は60～70%である。この根拠は、南海トラフ地震が90～150年の間隔で繰り返してきたことによる。

前回の南海トラフ地震は、昭和21（1946）年に起きているので、今年で68年が経過した。単純に計算すると、最短では22（90）年後に起きても不思議ではない。この巨大地震が起きると、「西日本大震災」が誘発される。

平成7年阪神・淡路大震災を契機に、日本列島は地震の活動期に入り、平成12年鳥取県西部地震をはじめとして、各地で大地震が続発している。歴史的にみて、活動期は次の南海トラフ地震が起きるまで続く。地震前には安芸灘～伊予灘の深部で地震（スラブ内地震）が起きており、3月14日の地震は南海トラフ地震の引き金を引いたかもしれない。

残念ながら今の科学では、大地震がいつどこで起きるかわからない。明日かもしれない。「突然大地震が起きれば、自分や家族も被災する」と考えることから、防災が始まる。震災を軽減するために、まず、可能な限りあらゆるケースを想定して、家庭、学校、職場それぞれで、地震が起きたときのシナリオを準備しておくことである。「地震震えれず、侮らず」である。

萩高への通学路と高島北海

川島の藍場川のほとりにある実家から萩高まで、約2.5kmの道のりを自転車通学した。通学路の途中、江向の萩自動車学校の少し手前に、高島北海の誕生地があるのを知ったのは、ほんの十年前のことである。当時は生家が残っていたが、それを知る由もなかった。

画家として後世に名を残した高島北海は明治5年、23歳のときに生野銀山に入り地質学を学ぶ。明治8年9月に生野銀山を去った後、明治11年2月には「山口県地質分色図」と「山口県地質図説」を表している。日本人として最初の地質学者でもあった。

高島北海の生家裏には堤防をはさんで橋本川がゆつくりと流れる。その上流約750mのところには家ががある。私が地質学を志すようになったのも、子供の頃慣れ親しんだこの川の自然が大きく影響している。

プロフィール

昭和26年萩市須佐生まれ、生後80日で萩市川島に転居。  
昭和44年萩高等学校卒業（21期）、  
昭和48年九州大学理学部地質学科卒業、  
昭和50年名古屋大学大学院理学研究科修士課程（地球科学専攻）修了、  
平成9年4月山口大学理学部教授、  
平成18年4月から現職。  
著書「足元に活断層」（朝日新聞社）ほか。



城下町の中心、萩博物館近くのスタイリッシュなカフェ  
しづきさりょう  
cafe 指月茶寮

## 中西 隆さん (56歳)

### ■cafe 指月茶寮

住所：萩市呉服町1-12 店休日：火、木曜日  
ランチタイム：11時30分～15時（オーダーストップ14時30分）、カフェタイム：15時～17時（オーダーストップ16時30分）  
※テラスでは、ペットと一緒に食事ができます  
☎0838・26・1227  
HPアドレス / <http://www.shiduki-saryou.com/>

「移住先では、農業でも漁業でも、何の仕事でも良かった」という中西さん。店舗付き住宅の物件しかも、城下町の中心地という立地条件からカフェを経営することに。「内装の施工は地元業者に任せましたが、過去に内装デザイナーの管理やレストランバーを経営した経験もあったので、店内のデザインはもちろん、床や壁、天井などの材料に至るまで、備品の発注・購入などは自分で行った」とのこと。物件が決まってから2カ月もかからずに、4月末に指月茶寮をオープンした。

店では、妻の昭江さんと共に、「2人がおいしいと思うもの」をお客様に提供する。紅茶は、九州や中国地方ではあまり手に入らないという、昭江さんが好きなフランスの「マリアージュ・フレール」を約60種、イギリスの「ヒギンス」を6種類扱い、趣味で収集していたというマイセンやウェッジウッドのカップで味わえる。また、独自にブレンドした、苦味が少なく飲みやすいコーヒーは、萩焼で楽しむことができる。そして、もともと菓子作りが好きだったという昭江さんが主婦の腕を生かして作る、萩の旬の食材を使った料理やスイーツも人気だ。

また、月に1回、ジャズコンサートも開催。もともと、中西さんがジャズを聴きながらお酒を飲むことが好きだったことから、萩でもそういった場を作りたいと、知り合いのミュージシャンを招き、オープン当初から始めた。当初は観客が10人ほどだったが、最近では、30席ほどのチケットが売り切れるほど人気を集めている。多くは地元のジャズファンが集い、口コミで広がっていった。

「夫婦の好きなものや、積み重ねてきたものが少しずつ集まったのが、この店なんじゃないかな」とそんな指月茶寮には、観光客はもちろん、地元の間人も集う場となっている。

### 萩で第二の人生を過ごす

「自分と同じ年齢で、こんな晴耕雨読の生活をしている人はあまりいないでしょう」と話す中西さん。「52歳までに、やりたいこと、やるべきこと、やらなければならなかったことは、全てやり尽くした。変な言い方だが、人が一生かけてやる量よりも、もう少し多く、その歳でやり終わっていると思っ「娘」としてかわいがっている愛犬・すももちゃん存在が生きがいだと笑って話す。萩で過ごす第二の人生は、これからも続く。

平成23年4月、萩博物館近く、城下町の中心地にオープンし、この春4周年を迎えたcafe指月茶寮。和と洋が融合したスタイリッシュなカフェには、多くの観光客が訪れます。北九州市出身で、福岡から移住されてきたオーナー・中西隆さんにお話を伺いました。

### 指月山に沈む夕日に惹かれて

黒と白を基調にしたシックな店内に、穏やかなBGMが流れるcafe指月茶寮。テラスからは、萩のシンボル・指月山を望むことができる。4年前、福岡から車で2時間で行き来できる範囲で移住先を探していた中西隆さんは、たまたま萩を訪れて城下町を歩いていたところ、当時、空き物件となっていたこの場所から指月山に落ち

### 燃え尽きたサラリーマン生活

中西隆さんは、高校卒業後、武蔵野美術大学造形学部芸術デザイン科に進学。3年次には休学し、動画制作を学ぶため、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）に1年間留学。大学卒業後は、東京の大手広告代理店に就職し、CM制作などを手掛けてきた。

しかし、35歳の時、体調を崩して2年間休職。現場に復帰することが厳しかったことから、37歳で退職した。当時の上司からの勧めもあり、38歳の時に、福岡で広告企画会社を設立。CM制作の企画提案をはじめ、不動産、店舗の内装デザイン管理、飲食店経営などさまざまな事業を手掛けた。「休日も、寝る間もないほど、目の色変えて、人の10倍くらいは働いて遊んだ」という中西さん。

### 人生の積み重ねが生んだカフェ

しかし、52歳の時、これまで手掛けてきた事業のほとんどを譲渡した。「3人の子どものうち一番下の息子が大学に合格したので、もうこれ以上、働かなくてもいいだろう。田舎でのんびり暮らそう」と思い、移住を決意。すぐに移住先を探し始めたところ、萩で指月山に沈む夕日と出会ったのだった。

また、月に1回、ジャズコンサートも開催。もともと、中西さんがジャズを聴きながらお酒を飲む



### 萩往還の宿場町・佐々並

どうしんてやろう会会長

林 壯助さん

とうふ料理の店「はやし屋」女将

林 千恵さん

近年、萩往還を歩く観光客が増加する中、平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、注目を集めている佐々並市。地元では、町づくり団体「萩往還佐々並どうしんてやろう会」を中心に、手づくりのおもてなしで観光客を迎える取り組みが進められ、今年3月、その活動が評価され、市民部門で「萩おもてなし大賞」を受賞しました。

また、創業260年の歴史を持つ旅館「はやし屋」が、地元の名物「ささなみ豆腐」を使って作る豆腐料理も、観光客の人気を集めています。そのはやし屋のご主人で、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」会長の林壯助さん(63歳)

と、妻で、女将の千恵さん(50歳)にお話を伺いました。

#### 「おもてなし」の心で盛り上げたい

はやし屋の長男として生まれた私は、萩高校卒業後(昭和44年卒、21期)、神奈川大学経済学部に進学。23歳の時に、広島相互銀行(現もみじ銀行)に就職し、萩や下関、広島支店に勤務していました。高校2年の時に、父が他界したため、実家ははやし屋は、母が、旅館と合わせて小売店や食堂も経営し、切り盛りしていました。39歳の時、その母が体調を崩したことから、16年間務めた銀行を退職し帰郷。いつかは実家へ帰らな

ければいけないと思っていました。母の希望もあり、予定よりも少し早く萩へ帰ることとなったのです。帰郷後は、旭村商工会(現萩・阿西商工会)に再就職。銀行員時代の経験を生かして、経営指導の業務に携わりました。そんな中、平成17年に、佐々並市にある、明治時代に建てられた建物が取り壊されることになり、どうにかして、古い家々が建ち並び景観を守ることができないかと、住民と萩市が協議した結果、保存会として住民組織を立ち上げ、伝建地区を目指すようになりました。私も、その一員として、地域の方々や勉強会などを重ねた結果、念願叶い、平成23年6月、佐々並市が、

国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されたのでした。

現在、私が会長を務める「萩往還どうしんてやろう会」は、伝建地区に指定される前の平成22年に、町並み保存をすることで地域の活性化を図つていこうという気持ちにより強めるために、保存会の名称を変更したものです。「どうしんてやろう」は、この地域の方言で「一緒にやりましょう」の意味。会員数は、佐々並地域の出身者なども含めて112名で、その7割は地元住民です。

伝建地区に指定された現在では、月に1回、会合を開いて、地域の今後について話し合うほか、萩往還や伝建地区内の清掃や、町並みボランティアガイドをしたり、地域のさまざまなイベントに積極的に参加したりしています。イベントでは、佐々並で昔から作られていた懐かしの味「甘粥」の無料接待を行うほか、「萩往還ワンデーウォーク」の際には、女性部が作る、地元産のゆずを使った「伝建ゆずあめ」や、ささなみ豆腐のおからを使った「伝建おからクッキー」を振る舞つておもてなしをしています。この他にも、訪れた方たちへの歓迎の気持ちとして、

それぞれ家の前に、竹筒の一輪挿しや、その家の歴史を紹介した看板を設置し、ささやかではありませんが、自分たちでできる手づくり



家の前に、竹筒の一輪挿しや、その家の歴史を紹介した看板を設置

のおもてなしを行っています。こういった活動が評価されたのか、今年3月には、市民部門で「萩おもてなし大賞」を受賞することができました。昔は、「佐々並の銀座」と呼ばれたほどにぎわっていた佐々並市も、現在は、商店も人も少なくなり、活気が失われています。ですが、自分たちが生まれ育つた町を良くしていきたい。伝建地区に指定されたことをきっかけに、にぎわいを取り戻したいという思いを、私たち住民が同じように抱いているからこそ、活性化を目指して協力し合うことができるとおもいます。

伝建地区に指定されてからは、





△とうふ料理「はやし屋」



△豆腐料理フルコース

■佐々並味処「はやし屋」

住所／萩市大字佐々並2660

営業時間／11時～15時、17時～20時

定休日／不定休

豆腐料理／フルコース 3,600円、松 2,600円、

竹 2,100円、梅 1,600円

※事前の予約が必要です

TEL 0838・56・0007



△佐々並地区  
おたからマップ

りました。ですが、当然、調味料の量は決まっているわけではなく、分量です。義母がつくる料理は、食べるとホッとするおふくろの味です。素朴な味付けで、家庭でも真似できそうだけど、やっぱり真似できない。そんな、はやし屋の味を受け継ぐと、義母の見よう見まねで覚えていきました。義母も、何度も味見してもらってはアドバイスをしてくれ、温かく見守ってくれました。

次第に、私が考えたメニューも加わるようになり、昔から義母が作っている田楽や煮豆腐、白和えなどに加えて、新たに、茶巾揚げや豆腐ステーキ、豆乳プリンといったデザートも加わり、現在のフルコース料理を提供することになりました。10年ほど前に、お店を改修したのですが、その頃から、義母が高齢なこともあり、私が8代目としてお店を任されるようになりました。ですが、91歳になった今でも、時々、手伝ってくれることもあり、義母の温かい接客でお客様をおもてなししてくれてい

現在、お手伝いをしてくださる方もいますが、食材の買い出しから料理の味付けに至るまで私一人で行っていることや、仕入れの関係もあり、事前に予約をいただいで営業しています。周辺で食事ができる場所が、はやし屋と道の駅の2カ所しかないため、地域の方たちからも、常時営業することで訪れた方がお茶をしたり、休憩したりできるようにしてほしいと要望をいただくこともあるのですが、なかなか対応できないのが現状です。

主人が、地域のために頑張っている姿をそばで見ていることもあり、できれば、今後は、地域活性化の拠点の一つとして、私自身も頑張らなければならないと思っています。はやし屋の味を守りながらも、将来的には、息子が結婚した際には、次の世代にその味を受け継いでいきたいと思います。

「おたからマップ」  
ホームページ「萩まちじゅう博物館」の萩データベースで公開しています

団体客をはじめ、個人のお客様も訪れる機会が増えてきました。私たちも、いつまでもボランティアとして活動するのではなく、地域の経済が潤うようにしなければならぬと思っています。そのためには、観光客が滞在することができよう、食事や宿泊をできるところが必要で、地域には、空き家も多いので、こういった場所に若い人が移住したり、商売をしたりしていただけるような仕組みづくりを考えていかなければなりません。また、私たち自身も、特産品などを新たに開発することで、地域の経済を潤すことができたらと思っています。

佐々並には、温かい人柄の方が多く、「おもてなし」の心を持った人たちがたくさんいます。今後は、地

元の人と観光客が交流できる場を設け、また訪れたいと思っただけのようにしていきたいですね。注目を集めている今をチャンスと捉え、前向きに頑張っていきたいと思っています。

義母から受け継いだ味を守る

下関市で生まれ育ち、高校卒業後、広島相互銀行下関支店に就職。職場で主人と出会い、20歳の時に結婚し、銀行を退職しました。当時から、はやし屋は、7代目の義母が切り盛りをし、豆腐料理がおいしいお店として、メディアにもたびたび取り上げられていたようでした。

はやし屋が使用している「ささなみ豆腐」は、土山商店さんが200年もの間受け継がれてきた

昔ながらの豆腐です。その地元で有名な豆腐を使った料理を、義母が、定食の一品料理として提供していたのが始まりで、その後、「豆腐懐石」というメニューが加わったようです。私自身も、佐々並へ帰省するたびに、義母が作ってくれる豆腐料理が好きで楽しみにしていたのを覚えています。

そんな中、26歳の時、主人と共に佐々並へ帰郷することとなりました。主人は、地元の商工会に再就職。結婚当初から、いずれは佐々並へ戻り、私がはやし屋を受け継ぐことになるのだらうと思っっていましたので、義母が営むはやし屋を手伝うようになったのです。最初は、料理の盛りつけや配膳などの接客を担当していましたが、次に、私も調理に携わるようにな

# 見慣れた看板と少し違います？

## 萩の風景に相應しい 広告物が増えています

**萩** 市では、受け継がれてきた歴史的な風情、情緒やたがずまいを守るため、景観基本計画の策定等、さまざまな取り組みにより、歴史的景観や豊かで美しい自然の景観を守っています。

平成17年には景観法が施行され、萩市は中国地方第一号の景観行政団体の指定を受けました。まち並み景観を守る運動を続け、先進的な景観・広告物条例を創設して、市民や事業者の協力を得ながら風致の維持に努めています。

### 屋外広告物とは

平成20年に県内で初めて、市全域で独自の基準で屋外広告物

の設置を規制する「萩市屋外広告物等に関する条例」を制定し、看板等の広告物についても、高さや表示面積、色彩等の規制しています。

対象となるのは常時、または一定の期間継続して、自己の敷地内だけでなく、それ以外の場所に建てる屋外で公衆に表示されるもので、看板や、広告塔、ポスター等のごとく、建物の壁面広告や野立て看板のほか、建物の内側等から外に向けて貼るポスターなどです。商業地や住宅地、歴史的な町並みなどの地域の特性に応じて、市全域を12の地域に分け、それぞれ許可基準を定めています。

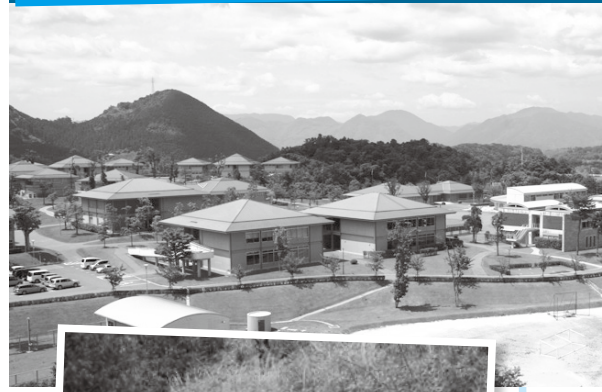
### 全国展開の店舗も萩ならではの看板に

新規に開設する店舗や事業所だけでなく、改装に併せて建物の外観と一緒に広告物を変更し、許可基準に適合させた景観に配慮したものととなっています。

NTTドコモやユニクロ、マクドナルド、セブン・イレブンも、市内の規制地域では、許可基準に沿った萩ならではの看板



## 山口福祉文化大学が 至誠館大学に改称



山口福祉文化大学は4月1日から名称を「至誠館大学」に変更し、初めての入学式が4月2日に行われました。今年度は165人（うち留学生101人）が入学したほか、留学生29人が編入学しました。本校で学ぶ日本人全員のほか留学生を含め72人が出席、残りの学生は東京サテライト校で学びます。

■これまでの経緯  
昭和42年4月 学校法人萩学園が「萩女子短期大学」を開学  
平成11年4月 山口県の日海側で唯一の4年制私立大学に移行し、「萩国際大学」が開学（国際情報学部国際学科、経営情報学科）  
平成16年4月 国際学科に維新学コース、萩陶芸文化コース、ゴルフ文化コースを、経営情報学科に観光経営コースを増設  
平成19年4月 「山口福祉文化大学」へ改称し、ライフデザイン学部ライフデザイン学科を設置  
平成25年12月 名称変更の届出を文部科学省に提出  
平成26年4月 「至誠館大学」に名称を変更とともに、学校法人も「萩学園」から「至誠館」に改める

■問い合わせ  
至誠館大学  
(0838・24・4000)

また、洋服の青山や明屋書店も、この春の店舗改装時に屋外の広告物等を撤去し、適度な大きさで落ち着いた色調の壁面広告へ変更するなど、全面的に協力をいただき、歴史のまち「萩」にふさわしい広告物が多くなってきました（16ページに写真で紹介）。

皆さんも通常見慣れたものと違う、萩にしかない色彩やデザインのアダプトを探してみようか。

新しい大学名は、日本の近代化に貢献した多くの人材を育てた吉田松陰の座右の銘である「至誠通天」からとられました。社会福祉分野を更に発展、拡充し、社会に幅広く貢献できる人材育成を指すとしています。

名称は変更しましたが、ライフデザイン学部ライフデザイン学科という一学部一学科の、「子ども生活学専攻」、「スポーツ健康福祉

# 日本海に深海魚が次々と!

萩沖や長門市の海岸に深海魚が次々と揚がりました。

2月20日、萩沖の定置網に「サケガシラ」が6匹捕獲されました。サケガシラは、深海魚「リュウグウノツカイ」の仲間、日本近海や太平洋などの水深100〜500mに生息し、タチウオに似た銀色の細長い体と赤色の背びれが特徴です。萩市には2月17日に江崎で2匹、19日に須佐で1匹が海岸に漂着していて、毎年萩沖で数匹は発見されますが、今回のように一度にまとまって捕獲されることは珍しいことです。



1度に6匹も捕獲された「サケガシラ」一緒に並んでいるのは、萩博物館で毎年大人気の夏の特別展を担当する堀成夫・主任研究員

カイは世界最長の硬骨魚と言われ、太平洋からインド洋の水深200〜1000mに生息し、銀色の細長い体と赤い背びれが特徴。捕獲数が少ないため生態についてはほとんど分かっていません。今回発見された個体の体長は4・38m。山口県内での発見は記録が残る1933年以降18例目で、正確に体長を測った個体としては最大国内でこれまで発見された中でもかなり大きい方です。

これらの深海魚は、萩博物館に寄贈され、標本化処理を行い保管しています。



萩博物館職員に抱えられる体長4.38mもの「リュウグウノツカイ」

# 首都圏で「萩の食」をPR 萩のブランド魚を天空で味わう!

年間約250種もの豊富な魚介が揚がる萩では、現在「萩の瀬つきあじ」、「萩のあまだい」、「萩のけんさきいか」、「萩の真ふぐ」、「萩の金太郎」、「萩のよこわまぐろ」のブランド化に取り組んでいます。

そんな萩のブランド食材を使った試食会を2月18日に、東京スカイツリータウン・ソラマチ31階のレストラン「ラ・ソラシド」で開催しました。首都圏の料理専門誌やテレビ関係者などに、萩の食材をPRすることが狙いで、約50人が参加しました。



東京スカイツリータウン・ソラマチ(右)

料理は、2012年のダボス会議(世界経済フォーラム)「ジャパンナイト」で料理責任監を務めた、萩ふるさと大使の奥田政行シェフがプロデュース。ふぐの女王と言われる「まふぐ」や、萩市が漁獲量日本一の高級魚「あまだい」、人気急上昇中の「金太郎」などを使い、素材の良さを生かしたコース料理でアピールしました。当日は、安倍昭恵首相夫人や林芳正農林水産大臣など著名人も多数参加。萩ふるさと大使で、萩の食材に関する書籍を持つ熊谷喜八シェフが萩の食材の解説をしたほか、同じく萩ふるさと大使で、萩市見島沖で300kg級のクロマグロをつり上げたことのある俳優の松方弘樹さんも萩のマグロの魅力を紹介しました。また、萩ふるさと大使の松本健一さん(作家)と田子みどりさん(コスモビア代表取締役社長)も駆けつけました。



萩のマグロの魅力を語る松方弘樹さん

「料理王国」5月号  
From OSHIAGE  
「金太郎」に「真ふぐ」「あまだい」萩のブランド魚を味わうタベ

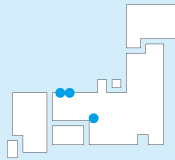
この試食会の様子が、さつき雑誌「料理王国」に取り上げられました。記事の中ではこの他にも、萩の魚のブランド化の取り組みや、「究極のお土産」に選ばれた「オイル・ルージュ」「オイル・ポニーフィッシュ」についても紹介されています。究極のお土産は、ご当地グルメの情報サイト「LJマルシェ」(<https://lmarche.jp/>)に掲載されています。



価格 1080円  
発行 CUISINE KINGDOM



「萩のあまだい」のうろこ焼きと春野菜のスープ



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp



## 会員投稿 3月24日 萩本陣 萩高6期(昭和29年卒)同期会

私たちは萩高を卒業して60周年(還暦)を迎えました。全国の方々と萩市で行う同期会は今回をもってお開きとする会としました。379人中(転校等含む)、死亡・不明が118人、残り261人に案内したところ54人の参加。欠席の多くは不

健康が大半の理由でした。

常連参加者はもちろん今回が最終とのことで特に参加された方も多く、話題は尽きることはなく60周年の思い出に予定の時間はあっという間でした。

二次会でも歓談は続き、カラオケにも花が咲き、三次会へと五間町まで足を運ぶ元気もあり、皆さんお互いに今後の人生が幸せ多いことを契いつつ、帰路へと向かいました。

地元幹事 杉山圭佑

## 大阪指月会

4月13日  
大阪弥生会館(大阪市北区)



48人が出席、会長の伊藤孝さん(16期)から「今年は69回目の開催、若い世代の30期、35期から3人が初めて出席。来年は70回の古希を迎えたい」とあいさつ。中村充範校長からは「昨年は萩高校(萩中)開校以来143年目、指月山は143m。今年の新入生は普通科3クラス、理数科1クラスの150人、全校生徒は校歌3番にあるようにかつては1千余名、現在は454人」と学校報告がありました。大賀清志さん(23期)が大阪支部のホームページを作成。

## 会員投稿 4月6日 昭和29年度 卒明倫小同窓会



去る4月6日に、明倫小を昭和29年度に卒業した玉木学級の同窓会を担任の玉木要蔵先生を囲んで開催しました。今回は先生の卒寿および昨年受章された瑞宝双光章のお祝いも併せて行いました。会には卒業生14名が県内外から集いました。既に物故した約20名の生徒に黙祷を捧げた後、会を開催、クイズ、当時の歌を歌うなど楽しい時間を過ごしました。最後に全員で「仰げば尊し」を斉唱、先生が90歳、生徒が72歳、今なお同窓会を開催できる幸せをかみしめながら閉会。次の日には病気との闘いで出席できなかった同級生を見舞いました。  
岩崎為雄(兵庫県在住)

## 「つばき会」が萩商工高校に校訓碑を建立!



<萩商工高校の校訓>

- 質実剛健…飾り気がなく真面目であり、心身ともに健康で強くたくましくあること
- 至誠一貫…真心を持って生きること
- 知行合一…知っているということは行動を伴っているということ

萩商工高校同窓会「つばき会」(池田誠次会長)が萩商工高校の玄関前に校訓碑を設置し、2月25日に除幕式が行われました。

校訓碑は、高さ約1.5m、幅約2mの徳山御影石製で、旧萩商業高校の校訓「質実剛健」と、旧萩工業高校の校訓「至誠一貫」、そして両校の校訓であった「知行合一」の3つの校訓が刻まれています。

萩商工高校は、萩商業高校と萩工業高校が平成18年に統合して8年が経過し9年目を迎えました。

## 萩光塩学院 新校長に中村柔道先生

やすみち

萩光塩学院の新校長に4月から中村柔道先生(椿東、44歳)が就任しました。これまでは、キリスト教の修道女(シスター)が校長を歴任しており、修道士の経験が無い男性校長は、創立以来初めてとなります。

中村校長は、小学生まで萩光塩学院で学び、その後、越ヶ浜中学校、萩高校(平成元年卒、41期)、専修大学を卒業。西部石油株式会社就職し、東京本社で4年間人事や経理を担当していましたが、当時の池田典子校長の誘いにより、教員の道に進むことを決意しました。子どもたちに合わせて方法を変えながら指導す



る楽しさに魅力を感じながら、これまで小学校で11年間、中学・高校でそれぞれ3年間、校長となった現在も地理・世界史を教えています。

「萩市内唯一の私学として、建学の精神を大切に、新しい時代に対応できる光塩学院に生まれ変わるため、勇気を持って歩みだしたい。」

## 阿武町



4/20

## 道の駅阿武町 リニューアルオープン!

生まれ変わった道の駅は、建物全体に地場産の木材を使用し、施設内にやわらかな木の香りが漂います。

店内には阿武町産の新鮮野菜や活魚・鮮魚、工芸品のほか、道の駅阿武町オリジナル商品、奈古高校生による商品などが並び、2階の浴槽から日本海を臨める温泉は、夕暮れ時には空から海にかけて美しいグラデーションが広がります。ミニショップでは炭火焼きにこだわった懐かしの蒸気船まんじゅうなどの販売、レストランでは地元産の新鮮食材を使ったおもてなしメニューを提供しています。

広い駐車場には、萩市内にも道の駅など7カ所に設置した電気自動車用急速充電器のほか、キャンピングカーなどが電源供給を受けながら車中泊ができるRVパークを整備しています。

## 会員 だより

窪田けい子さん(兵庫県神戸市)

萩ネットワークが届くたび、主人は仕事から疲れて帰ってきても、ふる里の便りを嬉しそうに、懐かしそうに読んでいます。私は萩育ちでないのに、この前帰省した時に萩市内を散策していたら、ちょうどミヨシノ醤油さんの前を通ったので、お店に入って色々とお話をお聞きしました。とても古い歴史があるようので感動して帰りました。

庭屋和子さん(大阪府茨木市)

来年の大河「花燃ゆ」今から楽しみです。ただ今、本籍が群馬県なのです。萩から縁もないところが本籍なんて結婚以来感じておりましたが、こんな深いこ

縁があるなんて、急に群馬に愛着が…。また、企業探訪のミヨシノ醤油さんは実家の愛用の醤油です。孝史さんのお父様(?)が一升瓶を配達してくださっていました。その後ろに小さい男の子がたまについて来ていらしたのが孝史さんかしら。懐かしく思い出していました。

大石充紀子さん(愛知県知多市)

昨年、5週連続で萩に帰りましたが特に何もできず、子ども達を松陰先生のお墓に連れて行きました。萩の花が小雨の露に映えてとてもきれいでした。出身が萩でよかったと思っただけでした。着付けを習っていて、創作の帯結びを考え中ですが、題は「萩」にしようと思っ

# 情報アラカルト

## 東北地区

### ■岡田裕・泰父子展

5月29日(木)～6月3日(火)

青森市新町1丁目7・1

中三青森本店8F美術工芸サロン

(017・777・3131)

## 関東地区

### ■ふるさと萩・小川会

旧田万川町小川出身者の関東地区同郷会。3月号掲載時から会場の変更がありました。

6月1日(日) 午前11時～午後3時

東京都荒川区東日暮里(JR日暮里駅東口から徒歩3分)

ホテルランゲウッド

(090・9673・2296) 佐伯

■公募団体ベストセレクション美術2014

吉賀将夫さんの作品が展示されます。

5月4日(日)祝～27日(火)(7日、19日は休室日)

東京都台東区上野公園(JR上野駅公園口から徒歩7分)

東京都美術館

(03・3823・6921)

■松林桂月展「没後50年 松林桂月」

水墨を極め、画中に詠つ

松林桂月は、萩に生まれ、東京

に出て渡辺華山の孫弟子にあたる野口幽谷に師事。山口県立美術館の30年ぶりの回顧展が巡回。

6月8日(日)まで

東京都練馬区貫井(西武池袋線中村橋駅から徒歩3分)

練馬区立美術館

(03・3577・1821)

■おいでませ山口館のイベント

萩の夏みかん・周防大島の柑橘フェア

5月8日(木)～13日(火)

東京都中央区日本橋2・3・4日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館(03・3231・1863)

■水津和之作陶展

6月12日(木)～17日(火)

東京都豊島区西池袋1・1・25

東武百貨店池袋店

(03・3981・2211)

■全国日本酒フェア

萩の地酒も出展される予定です。

6月21日(土)

東京都豊島区池袋3・1・1

池袋サンシャインシティ

(問) 山口県酒造組合 (083・973・1710)



■秋の夏みかん・周防大島の柑橘フェア

5月8日(木)～13日(火)

東京都中央区日本橋2・3・4日本橋プラザビル1階 おいでませ山口館(03・3231・1863)

■タケ・クリエイト・ハギの展示販売

Take-REBIRTH(リバースプロジェクト)とのコラボ商品)の花器、テーブルウェアが展示販売されます。

5月12日(月)～19日(月)

東京都新宿区新宿3・14・1

伊勢丹新宿店5F

(03・3352・1111)

■岡田裕 作陶展

5月20日(火)～26日(月)

東京都豊島区南池袋1・28・1

西武池袋本店

(03・3981・0111)

■中部地区

■東海指月会

東海地区の萩高同窓会。

6月15日(日) 正午～午後2時

愛知県名古屋市中村区(名古屋駅前通りユニモール地下街11番出口)

名古屋キャッスルプラザ4階 茜の間 (0566・99・4069) 吉岡

■つばき会関西支部

関西地区の萩商工同窓会。

6月21日(土) 正午～午後3時

大阪市中央区天満橋京町(地下鉄天満橋下車)

大阪キャッスルホテル3階錦城閣

(06・6389・1547) 烏田

■関西山峡(やまなみ)会

旧旭村・川上村の同郷会。

6月29日(日) 午前11時～

大阪府豊島区網島町(JR東西線大阪城北詰駅から徒歩1分)

太閤園

(0742・41・2023) 青水

■中国地区

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

6月14日(土) 午後5時～

広島市南区的場(広島駅から徒歩5分)

ホテルセンチュリー21広島

(082・287・1506) 西村

■西村不可止個展

萩市紫福出身で広島在住の油絵画家・西村不可止の作品を展示。

7月31日(木)まで

広島県安芸高田市八千代町勝田

494・7

八千代の丘美術館A棟

(0826・52・3050)

■四国地区

■2人展

田村覚志(TAZZ)の線描画作品が出版されます。

5月12日(月)まで

愛媛県松山市道後湯之町14・26

道後の町屋 (089・986・8886)

■山口県関係

■宇部 躍動展

画家・藤崎恒頼の作品が出品されます。

5月8日(木)～11日(日)

宇部市朝日町8・1

宇部市文化会館

(0836・31・7373)

■下関市立美術館所蔵品展(高島北海)

萩市出身の日本画家高島北海の作品が展示されています。

6月1日(日)まで

下関市長府黒門東町1・1

下関市立美術館

(083・245・4131)

■次代を担う萩焼精鋭作家8人展

岡田泰、野坂和左、船崎透の作品が展示されます。

5月28日(水)～6月2日(月)

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

宇部市常磐町1・6・30

■国際浮世絵学会創立50周年記念

「大浮世絵展」

江戸東京博物館、名古屋市博物館でも開催された浮世絵展。浮世絵の傑作、大集合。あなたの見たい浮世絵に出会えます。

5月16日(金)～7月13日(日)  
山口市亀山町 山口県立美術館



(08339257788)

新規(再)加入会員

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 浅野公司さん (宇部市)        | 宇田川幸作さん (萩市)      |
| 平林悦子さん (愛知県名古屋市長久市) | 山本薫さん (大阪府茨木市)    |
| 林幹雄さん (山口市)         | 伊藤勝也さん (滋賀県大津市)   |
| 止原美和子さん (萩市)        | 福井進介さん (京都府京都市)   |
| 高橋由美子さん (大分市)       | 烏田睦男さん (滋賀県草津市)   |
| 伊藤正文さん (埼玉県川越市)     | 堀江恵子さん (大阪府吹田市)   |
| 里野光生さん (京都府八幡市)     | 長谷義明さん (萩市)       |
| 福田忠さん (防府市)         | 松崎清治さん (宇部市)      |
| 泉本英明さん (大阪府岸和田市)    | 左野裕典さん (広島県広島市)   |
| 佐伯和彦さん (防府市)        | 原田常代さん (周南市)      |
| 井町孝一さん (萩市)         | 村上房子さん (神奈川県川崎市)  |
| 溝部敏雄さん (萩市)         | 上田哲也さん (萩市)       |
| 藤山泰宏さん (萩市)         | 原俊明さん (広島県福山市)    |
| 村田明美さん (萩市)         | 大石充紀子さん (愛知県知多市)  |
| 藤村弘延さん (萩市)         | 菊寄厚子さん (大阪府大阪市)   |
| 中村扶之男さん (萩市)        | 井上勝さん (兵庫県神戸市)    |
| 神崎勝代さん (萩市)         | 上村久さん (大阪府大阪市)    |
| 田坂康夫さん (東京都杉並区)     | 藤本美登里さん (大阪府吹田市)  |
| 山本三男さん (萩市)         | 岡本洋さん (萩市)        |
| 上田哲史さん (萩市)         | 中村博和さん (萩市)       |
| 田上善治さん (萩市)         | 大嶋元晴さん (萩市)       |
| 宗村雅行さん (萩市)         | 石橋満人さん (萩市)       |
| 竹田学さん (神奈川県川崎市)     | 金子雅子さん (萩市)       |
| 宮本英次さん (萩市)         | 田中裕一さん (萩市)       |
| 田辺道喜さん (萩市)         | (2月25日～4月24日) 49人 |

萩市関係

■大屋窯の五月

陶器・磁器・ジュエリーが20%～70%OFF。  
5月1日(木)～6日(火・休) 午前10時～午後5時  
萩市椿905

■萩躍動展

画家・藤崎恒頼の作品が出品されます。  
5月30日(金)～6月3日(火)  
萩市民館小ホール  
(08338251234)

■山口県現代工芸美術展

吉賀将夫など山口県在住の現代工芸作家の陶芸などを展示。  
6月6日(金)～9月28日(日)  
午前9時～午後5時  
萩市椿東426・1  
吉賀大眉記念館  
(08338265180)

阿武町関係

■コンコードジャズ・フェスティバル2014  
スタンダード・ジャズの第一人

■シニアアートフェスティバル

画家・藤崎恒頼の作品が出品されます。  
6月6日(金)～8日(日)  
周南市公園区(徳山動物園横)  
KRYハウジングサイト  
(0834623248)

テレビ情報

■TBS木曜ドラマ劇場「MOZU Season1～百舌の叫ぶ夜～」

ハードボイルド小説「百舌」シリーズの連続テレビドラマ化。萩市出身の俳優、松本実さんが出演。4月スタート、午後9時～10時  
TBS系列(全国)

■NHK土曜ドラマ「ロンググッツドバイ」

フィリップ・マローウという探偵を世に送り出したアメリカの小説のテレビドラマ化。俳優の松本実さんが出演。  
4月19日スタート 毎週土曜日午後9時～9時58分(全5回)

出版情報

■究極のお土産

日本には、まだ知られていない、こんな「美味しい」ものがある！生産者が応募した747品から、プロの目利きで選んだ9品にふ

るさと萩食品協同組合が製造する「オイル・ルーシユ」「オイル・ポニーフィッシュ」が選ばれました。価格 1080円  
発行 新潮社

プレゼント

①ただいだい菓子、あおぎり(中村製菓本舗)を2名様  
②萩博物館特別展「楯取素彦と幕末・明治の群像」図録を2名様。  
③萩ものがたり「吉田松陰と旅」

■松下村塾を2名様

④応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。5月20日(消印有効)。

萩・石見～東京(羽田)線 11年ぶりに1便から2便に増便!

運航期間 平成28年3月26日まで(2年間)  
※利用状況により、継続される場合があります。

	東京(羽田)→萩・石見	萩・石見→東京(羽田)		
	11:15発	12:45着	13:45発	15:15着
増便	16:25発	17:55着	18:25発	19:55着

■問い合わせ 萩・石見空港利用拡大促進協議会事務局  
(0856230990)

## イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

5月1日(木)～5日(日)・(祝) 9:00～17:30	萩市民体育館
◇萩焼まつり	
5月3日(土)・(祝)～4日(日)・(祝) 10:00～15:00	萩城跡指月公園
◇萩・大茶会	
5月3日(土)・(祝)～4日(日)・(祝) 10:00～17:00	※4日は16:00まで
◇萩往還まつり「技・明木展」	明木市・乳母の茶屋周辺
5月10日(土)～18日(日)	
◇萩オープンガーデン	市内各庭園
5月17日(土)、18日(日) 10:00～16:00	
◇萩・夏みかんまつり	かんきつ公園、旧田中別邸
5月18日(日) 9:00～15:00	
◇浜崎伝建おたから博物館	浜崎地区
6月1日(日) 9:30～13:30	
◇萩の和船大競漕 おしくらごう	橋本川下流
6月7日(土) 17:30～22:00	
◇ホテルまつり in やまだ	山田天神橋周辺
7月6日(日) 9:30～13:00	
◇萩の瀬つきあじ祭り	山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩シーマート」

萩市では、全国展開の店舗も落ち着いた色調の壁面広告や、看板を低く設置するなど、萩の歴史的景観に配慮されています。詳しくは10ページに掲載。

## 萩の風景に合わせた建物や看板



洋服の青山：青色の大きな屋上看板がベージュ色の外観に



明屋書店：赤色文字の壁面看板等が落ち着いた外観に



ユニクロ：赤色を使用せず、白地にこげ茶色の文字の看板



マクドナルド：こげ茶色を下地にした落ち着いた看板

## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

生誕  
130年

### かわせはすい 川瀬巴水展

一郷愁の日本風景  
6月8日(日)まで

大正から昭和にかけて活躍した風景版画家・川瀬巴水(1883～1957)の回顧展です。

風光明媚な風景や自然美、四季の移ろいを詩情ゆたかに描きとどめ、人々の穏やかな暮らしを点景に織りなす作風は「旅情詩人」、「昭和の広重」と称えられています。

■観覧料 一般 1,000円、70歳以上の方・学生 800円、18歳以下無料

■休館日 月曜日  
(5月5日、7月21日は開館)

「春のあたご山 東京十二題」  
大正10年(1921)



### やきものって何ダ?

7月5日(木)～8月24日(日)

日本各地の公立美術館・博物館が連携する「陶磁ネットワーク会議」加盟館8館が各館自慢の逸品を紹介します。

## 萩博物館だより

☎0838・25・6447

### 山田顕義と近代日本 6月22日(日)まで

日本最初の司法大臣として近代法整備に尽力した山田顕義の生誕170年を記念し、顕義が創立した日本大学の協力を得て行う特別展です。

軍事・政治・教育と多方面に活動した山田顕義を通じて、萩ゆかりの人物が近代国家形成期の明治日本に果たした役割を紹介します。

■観覧料 大人 510円、  
高校・大学生 310円、  
小・中学生 100円  
◎年中無休

### 最強昆虫列伝

カブトムシ VS なぞの昆虫戦士たち

7月5日(土)～9月7日(日)

昆虫たちの知られざる真実にせまる、夏休みの親子連れ向けのストーリー仕立ての展示会です。



48歳の顕義を描いた銅版画(萩博物館蔵)